

カリキュラムマップ

人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士課程前期 R3年度以降入学生適用 (学位：修士(文学))

<p>ディプロマ・ポリシー (DP)</p> <p>人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>DP1：日本語日本文学に関する豊かな知識を修得し、活用することができる。</p> <p>DP2：日本の言語・文学・文化を理解し、説明することができる。</p> <p>【技能】</p> <p>DP3：日本語日本文学の専門分野の文献や一次資料を厳密に読解する能力を有している。</p> <p>DP4：文献資料や調査データを分析し、結果を幅広く活用可能な資料体として構築できる。</p> <p>【態度・志向性】</p> <p>DP5：研究倫理に関する基本的な規範意識を身に着けている。</p> <p>DP6：自らの研究課題を発見し、解決のための積極的な姿勢を持っている。</p> <p>DP7：高度な専門性を持つと意欲を持っている。</p>

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
日本語学特講Ⅰa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅰb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅰc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅰd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本語学特講Ⅱa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅱb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅱc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅱd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本語学特講Ⅲa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅲb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅲc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本語学特講Ⅲd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本語学演習Ⅲ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅰa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅰb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅰc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅰd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅱa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅱb	2	1	後期	○		○	○	○		

日本文学特講Ⅱc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅱd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅲa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅲb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅲc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅲd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅲ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅳa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅳb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅳc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅳd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅳ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅴa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅴb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅴc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅴd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅴ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅵa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅵb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅵc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅵd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅵ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特講Ⅶa	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅶb	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅶc	2	1	前期	○		○	○	○		
日本文学特講Ⅶd	2	1	後期	○		○	○	○		
日本文学演習Ⅶ	4又は8	1	2年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本語学研究Ⅰa	2	1	前期		○		○	○		
日本語学研究Ⅰb	2	1	前期		○		○	○		
日本語学研究Ⅰc	2	1	前期		○		○	○		
日本語学研究Ⅰd	2	1	後期		○		○	○		
日本語学研究Ⅱa	2	1	集中前期		○		○	○		
日本語学研究Ⅱb	2	1	集中後期		○		○	○		
日本語学研究Ⅱc	2	1	前期		○		○	○		
日本語学研究Ⅱd	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅰa	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅰb	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅰc	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅰd	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅱa	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅱb	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅱc	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅱd	2	1	後期		○		○	○		

日本文学研究Ⅲ a	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅲ b	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅲ c	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅲ d	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅳ a	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅳ b	2	1	後期		○		○	○		
日本文学研究Ⅳ c	2	1	前期		○		○	○		
日本文学研究Ⅳ d	2	1	後期		○		○	○		
特別講義Ⅰ a	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅰ b	2	1	後期	○	○			○		
特別講義Ⅰ c	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅰ d	2	1	後期	○	○			○		
特別講義Ⅱ a	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅱ b	2	1	後期	○	○			○		
特別講義Ⅱ c	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅱ d	2	1	後期	○	○			○		
特別講義Ⅲ a	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅲ b	2	1	後期	○	○			○		
特別講義Ⅲ c	2	1	前期	○	○			○		
特別講義Ⅲ d	2	1	後期	○	○			○		

※博士課程前期の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。（ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）
DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：32単位以上

必修科目：12単位（専修科目の演習8単位、特講4単位）

選択科目：20単位以上（当該又は他の専修部門の授業科目のうちから20単位以上）

※一つの専修部門を選定し学生の専修科目とする。

※専修科目の演習担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、研究一般等について指導を受ける。

※専修科目の演習は2年間8単位の履修を原則とするが、選択科目として1年間4単位の履修を認めることがある。

・修士の学位論文は専修科目について提出する

演習科目・・・研究課題について議論を行い、研究発表・討議能力を身につける。

特講科目・・・研究課題について講義を行い、特定の分野についての専門的知識を身につける。

特別研究科目・・・幅広い資料・作品の取り扱いについて訓練を行い、研究論文を書くスキルを身につける。

1年次・・・研究テーマに関連する現状の把握と研究遂行に必要な基礎力の養成

- ・指導教員の指導を受け「研究計画書」を作成する。
- ・演習、特講の講義において研究に必要な基礎力や遂行能力を身につける。
- ・大学院生研究発表会において中間報告を行う。研究の進捗状況を報告し、教員や大学院生から指導・助言を受ける。

2年次・・・研究テーマについて研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力の養成

- ・1年次の総括を踏まえ、必要に応じて研究計画の見直しをする。
- ・継続して「演習」などで研究成果を報告し、指導・助言を受ける。
- ・学会発表や論文投稿を行い、広く内外からの評価を受ける。
- ・修士論文論題提出。主査、副査の指導を受ける。
- ・修士論文提出。口頭試問（最終試験）を受ける。
- ・修士論文発表会を開き、論文の内容について公表する。

カリキュラムマップ

人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士課程後期 H28年度以降入学生適用 (学位：博士(文学))

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：既存の研究水準を超える知識を修得し、活用することができる。

DP2：自ら探究し、得られた知見を理解し、公表することができる。

【技能】

DP3：日本語日本文学の専門分野において独創性を発揮できる能力を有している。

DP4：一研究者としての専門的スキルを修得している。

【態度・志向性】

DP5：研究倫理に関する規範意識を身に着けている。

DP6：自らの研究を人文科学や社会との関わりから、柔軟な視点で探る態度を有する。

DP7：未知の研究領域を開拓していこうとする積極性を有する。

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

研究指導科目	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
日本語学特別研究Ⅰ	4又は12	1	3年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本語学特別研究Ⅱ	4又は12	1	3年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本語学特論Ⅰ	4	1	通年	○			○	○		
日本語学特論Ⅱ	4	1	通年	○			○	○		
日本文学特別研究Ⅰ	4又は12	1	3年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特別研究Ⅱ	4又は12	1	3年通年	○	○	○	○	◎	◎	○
日本文学特論Ⅰ	4	1	通年	○			○	○		
日本文学特論Ⅱ	4	1	通年	○			○	○		

※博士課程後期の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、所定の研究指導科目について、合計12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。(但し、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。)

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：12単位

必修科目：12単位 (専修科目の特別研究科目)

※研究指導科目のうちから一つの特別研究科目を選定し、これを学生の専修科目とする。

※専修科目の研究指導 (特別研究) 担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導に従うものとする。

※特別研究科目は3年間12単位の履修を原則とするが、指導教員が研究上特に必要と認めた場合には、専修科目せず1年間4単位の履修を認めることがある。

・博士の学位論文は、専修科目について提出する。

特論科目・・・研究課題に関して講義を行い、日本語日本文学に関する研究者に必要な、専門的で高度な知識・理論を身につける。

特別研究科目・・・研究指導を受け、博士論文の作成を行う。自立した研究活動を遂行し得る能力を身につける。

1年次・・・研究課題構想能力の養成

- ・博士論文の構想を立て、指導教員とともに計画を検討する。
- ・大学院生研究発表会において論文の構想あるいは骨子を発表し、指導教員や他の教員・院生からの評価や助言をうけ、問題点を明らかにするとともに解決方法を検討する。
- ・年度中の成果を指導教員に提出し、必要に応じて計画の見直しを行う。

2年次・・・論文作成能力の養成

- ・1年次の成果を踏まえ、学位論文の執筆をめざし、本格的に開始する。
- ・大学院生研究発表会において、その段階における成果を発表する。研究の進捗状況を確認して、指導教員との綿密な議論を行う。

3年次以降・・・自立した研究能力の養成

- ・学位論文の中間稿を指導教員に提出する。
- ・大学院生研究発表会において中間稿をもとにした研究発表を行い、評価を受ける。
- ・これまでの成果を踏まえ、学位論文を作成する。
- ・指導教員の承認を得て、学位論文を提出し、学位審査請求を行う。
- ・博士学位申請論文の最終試験（公聴会など）を行う。

なお、この間、年度ごとに随時研究会、学会、雑誌等によって成果を公表することが望ましい。